コード No. 10078

## Anti-Rat

## Hepatic Sinusoidal Endothelial Cells (SE-1) Mouse IgG MoAb

容量 : 100 µg

はじめに : 肝類洞内皮細胞 (Hepatic Sinusoidal Endothelial Cells) は門脈の最終分枝で

> ある肝類洞を裏打ちする一種の血管内皮細胞ですが、大動脈や毛細血管の内皮 細胞と異なる特徴的な形態を有しています。類洞内皮細胞はその細胞質に多数 の小孔を有し、その小孔を通じての肝類洞と Disse 腔との間の活発な物質交 換を可能にしています。種々の疾患で類洞内皮の形態変化が報告されており、 本抗体は、これらの研究や大腸がん肝転移時における肝類洞内皮細胞の形態変

化などの研究に有用です。

免疫抗原 : Rat Hepatic Sinusoidal Endothelial Cells

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ

(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : SE-1 サブクラス : IgG2a

: Protein A による精製 精製方法

: 1 % BSA, 0.05 % NaN₃含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥 包装形態

: 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります) 再生方法

保存方法及び : 2~8°C保存 5年間安定 安定性 溶解後 -20°C 保存 2年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 1~5 µg/mL にて使用可能

使用方法

(緩衝ホルマリン固定・(灌流固定を推奨)、パラフィン切片 Proteinase K 前処理)

(アセトン固定、凍結切片)

: ウエスタン・ブロッティング 1~5 μg/mL にて使用可能

: 1. Ohmura T, Enomoto K, Satoh H, Sawada N, Mori M. Establishment of a 文献 novel monoclonal antibody, SE-1, which specifically reacts with rat hepatic sinusoidal endothelial cells. J Histochem Cytochem. 1993 Aug;41(8):1253-7.

> 2. Tokairin T, Nishikawa Y, Doi Y, Watanabe H, Yoshioka T, Su M, Omori Y, Enomoto K. A highly specific isolation of rat sinusoidal endothelial cells by the immunomagnetic bead method using SE-1 monoclonal antibody. J

Hepatol. 2002 Jun;36(6):725-33.